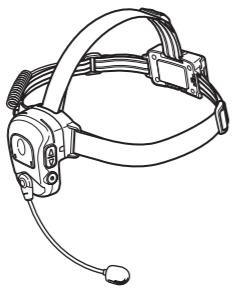


Bluetooth®ヘルメット用スピーカーマイク(無線アプリ専用オプション)
総務省技術基準適合品 Bluetooth Module XE1134内蔵

EME-83WNC

取扱説明書

EME-83WNCをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるため、この取扱説明書を最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので、本書は必ず保管してください。また保証書、補足シートや正誤表が入っている場合は合わせて保管してください。本機は総務省技術基準適合品モジュール(XE1134)を内蔵しています。なお、本製品は弊社の無線アプリ専用です。アプリが無くても電話の通話ができますが、スマートフォン用の汎用スピーカーマイクや他社の無線アプリ用として設計されたものではありません。動作保証も致しかねます。



本機は日本国内専用モデルです。海外では規格と電波行政の違いから使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

PJLインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL:03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエイビル4階 TEL:052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区萬福橋4丁目4番9号 宝屋橋ダイビル13階 TEL:06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコピール2階 TEL:092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> >事業案内>電子事業部 をご覧ください。
製品のカタログは無償で郵送します。弊社HPのお問い合わせ
フォーム、または最寄りの営業拠点にお電話でご依頼ください。

本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写・転用
することは、禁止されています。

PS1070SA
FNFG-NH
Copyright Alinco, Inc. Printed in China

使用前のご注意

別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本書に記載していない重要な安全上、使用上の注意点と免責事項についてご説明しています。

■ ご使用環境

高温、多湿、直射日光が当たり続けるところは避けてご使用ください。

■ 分解しないで

総務省技術基準適合品の改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■ 使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺など)

■ 待機電流

待機電流によってバッテリーが過放電して劣化する恐れがありますので、本機を保管するときは必ずバッテリーパックを外してください。

各部の名前とはたらき

前面(本体部・バッテリーパック)

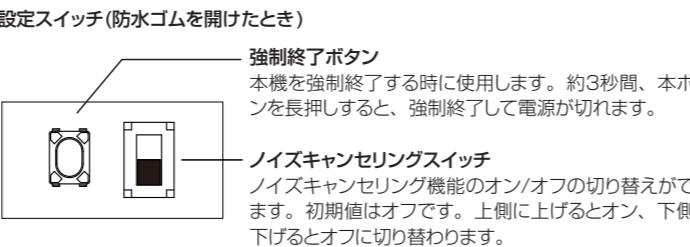
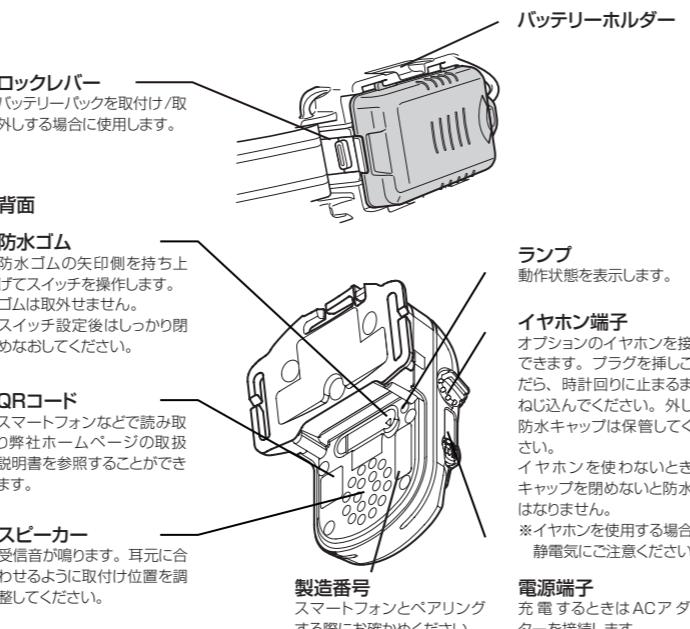
「PTT」キー 専用アプリ使用時の送信ボタンです。無線機用語で送信ボタンをPTTと言います。
※専用アプリで使用するには BLE接続が必要です。
※電話の場合、このキーを使用すれば通話できます。

マイク マイクに向かって話します。
※口もととマイクの間の距離は通話テストをして決めてください。

「△(アップ)キー 音量を上げるときに押します。

「▽(ダウン)キー 音量を下げるときに押します。

「電源」キー (電源オフのとき)長押しで電源を入れます。更に長押しでペアリングモードになります。(電源オンのとき)長押しで電源を切ります。
専用アプリでの通話中に押すと、通話を終了します。
(専用アプリ未使用時)本機と接続しているスマートフォンに電話がかかつてきたとき、押すと応答できます。再度押すと通話を終了します。



ノイズキャンセルについて

本機は人間の音声を認識して、その声の周波数帯域をマイクに通し、それ以外は通さないことで環境音のバックノイズを消去します。このため動物の鳴き声、音楽、チャイムなどは正しく送信できなくとも異常ではありません。

付属品と取り付け方

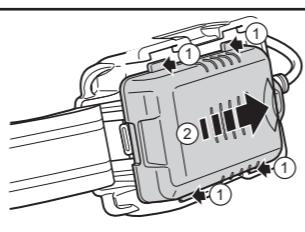
付属品をご確認ください。

- バッテリーパック : EBP-108 (Li-ion 3.6V/2200mAh)
- ヘルメットホルダー : 2個
- ACアダプター (EDC-122) : 1個
- 取扱説明書 : 2枚
- ヘッドバンド : 3本 (2本 本機装着済み)
- ケーブルクリップ : 2個 (装着済み)
- 保証書

バッテリーパックの取付け / 取外し

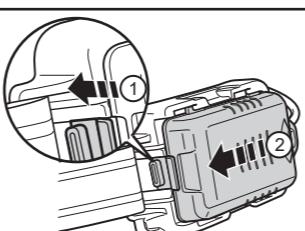
●バッテリーパックの取付け方

- ①バッテリーパックを本機のツメに合わせ、
- ②バッテリーパックを矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。



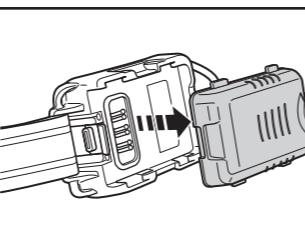
●バッテリーパックの取外し方

- ①本機のロックレバーを押して、②バッテリーパックをスライドさせて取外します。スライドさせる場合は、指や爪などを傷めないよう注意してください。



注意 バッテリーパックは取扱いを間違えると大変危険です。別紙の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

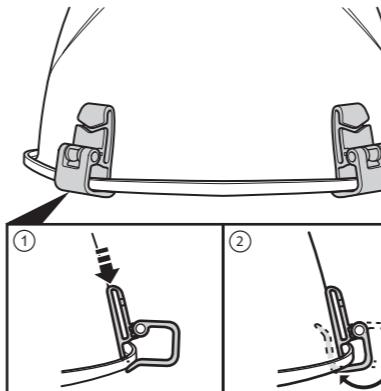
■保管と補充電について
リチウムイオンバッテリーは適度に充電された状態で保管することが最適で、過充電や過放電状態は劣化を促進します。
減電池時(ランプ:赤色点滅)はバッテリーパックを外して乾燥した冷暗所で保管してください。
減電池時でない場合はバッテリーを使い切った状態から2時間程度補充電してから保管してください。
時々本体に装着して電源を入れ、異常がないか点検してください。



ヘルメットホルダーの取付け

本機を取付ける前にヘルメットに取付けておきます。

- ①ヘルメットのつばにV字の切り込みを上にしながら外に向けて図のような方向で取付けます。
- ②開いた部分をヘルメットの内側に向けて押し込み、固定します。ヘルメットホルダーの間隔が狭くならないようバランスよく取付けてください。

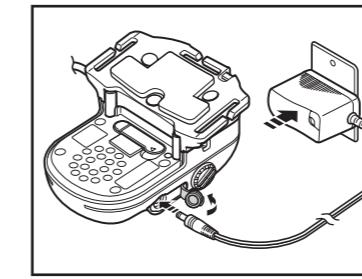


注意 ・ヘルメットの種類により取付けが出来ない場合があります。
・ヘルメットホルダーは左右に必ず2個取付けてください。

充電方法

本機に付属しているACアダプターを使用して充電する方法を説明します。

- ①バッテリーパックを装着し、ACアダプターのプラグを本機側面の電源端子へ接続します。
- ②ACアダプターをAC100Vコンセントへ接続します。充電が開始すると赤ランプが点灯します。
- ③充電が完了すると緑ランプが点灯します。
- ④プラグを抜き電源端子を確実に閉めてください。



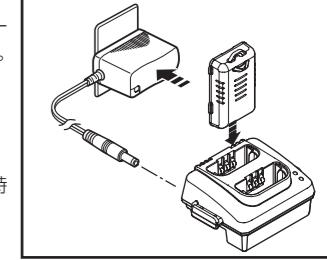
充電器(オプション)

別売オプションの充電器を使用して充電する方法を説明します。

- ツイン充電スタンド : EDC-320R(連接ケーブル付属)

ツイン充電

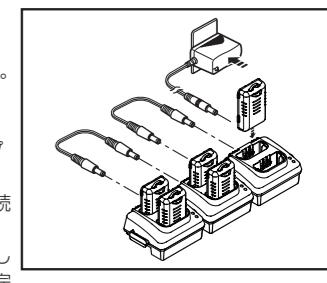
- ①別売のEDC-320Rと付属のACアダプターを充電器背面にある電源端子に接続します。
- ②ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
- ③バッテリーパックを充電器のポケットに挿入します。充電が始まるとき赤ランプが点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。2個同時に充電できます。



連接充電(EDC-320R)

- 付属のACアダプターにEDC-320Rを最大3個まで連接して6個のバッテリーパックを同時に充電できます。

- ①充電器の横の結合部を合わせて連結します。
- ②図のように連結ケーブルを充電器背面の電源端子に接続します。
- ③一番端の充電器の背面ジャックにACアダプターのプラグを接続します。
- ④ACアダプターをAC100Vコンセントに接続します。
- ⑤バッテリーパックを充電器のポケットに挿入します。充電が始まるとき赤ランプが点灯し、完了すると緑ランプが点灯します。



充電時間と運用時間

・充電時間: 空のバッテリーを約4.5時間(本体装着時)、約7時間(オプション使用時)で満充電できます。

・充電温度範囲: 0°C ~ +45°C ※屋内で充電してください。
またこの範囲以外では正しく充電できません。

・運用時間の目安: 満充電から約38時間(ノイズキャンセリング機能オフ時)
満充電から約72時間(ノイズキャンセリング機能オフ時)。オンオフ共に弊社規定の条件にて)※運用時間は使用環境、特にスピーカーの音量設定で大きく変わります。

本機の取付け方

- ①本体とバッテリーパックが組み立て済みのヘッドバンドを、全体図の向きに装着します。

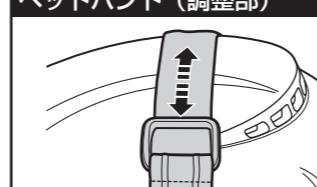
②下図を参照して、あらかじめ取付けておいたヘルメットホルダーにヘッドバンドを通して固定します。調整部の2重の部分は、内側の1枚だけ固定します。

③付属のヘッドバンドはゴムのすべり止めを下にして、図のように差し込んで本体とバッテリーパックに取付けます。突起物で頭頂部を引っかける環境では安全のため頭頂部のヘッドバンドは外してください。

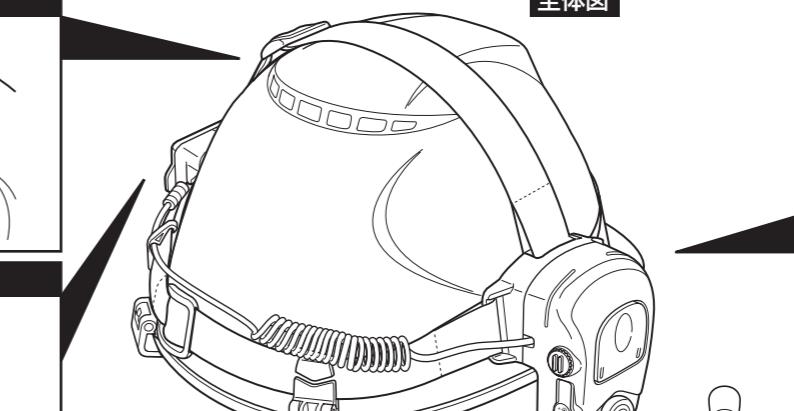
④全体にバランスよく固定できるように各バンドの長さを調整します。強く締めすぎるとゴムが収縮してしっかりと固定できなくなることがあります。

⑤ヘルメットをかぶり、可動範囲内でマイクの位置を調整し、白いドットが口もとに向くよう固定します。

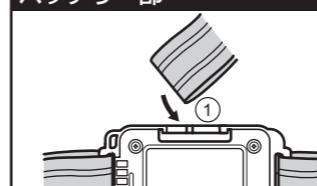
ヘッドバンド(調整部)



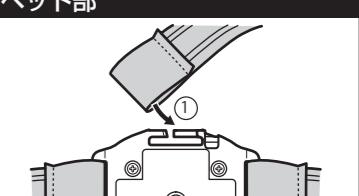
全体図



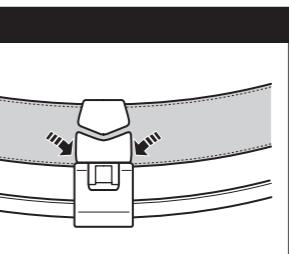
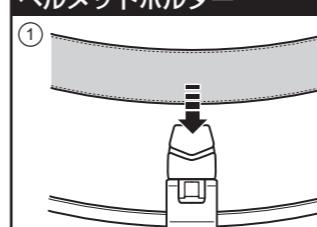
バッテリーパック



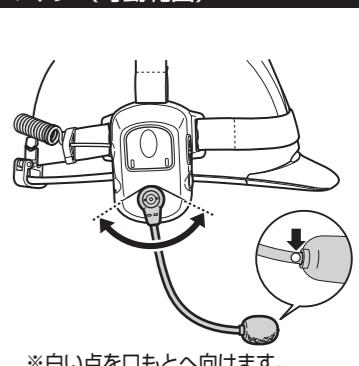
ヘッド部



ヘルメットホルダー



マイク(可動範囲)



※白い点を口もとへ向けてください。

インジケーター表示について

※機種により表示が異なる場合があります。

インジケーター表示	機能
緑色1秒点灯	電源オン/オフ
赤色1回点滅	ペアリング完了
緑色早い点滅	ペアリングモード
緑色早い2回点滅	未接続状態
緑色遅い点滅	接続状態/待受状態
赤色点灯	充電中
緑色点灯	満充電
赤色点滅	減電池状態

操作説明

※Android端末と接続する場合、機種によって動作が異なることがあります。

キー操作について

本書中、「押す」は押した後、すぐに離すことを指します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。「長く押す」「長押しする」は機能が動作するまで押し続けることを指します。

電源を入れる/電源を切る

「電源」キーを長押しすると、「電源オン」とアナウンスがあり、電源が入ります。電源が入っている状態で「電源」キーを長押しすると、「電源オフ」とアナウンスがあり、電源が切れます。

スマートフォンとの接続(ペアリング)と専用アプリとの接続(BLE接続)

本機を使用する前にスマートフォンとの接続(ペアリング)を行います。次に「PTT」キーを有効にして送信ができるようにするために専用アプリとBLE(Bluetooth Low Energy)接続を行います。

本製品をペアリングモードにした後のBLE接続方法は専用アプリの取扱説明書をお読みください。

※ペアリング機器が見つからない状態がら分続いたときは、電源が切れます。

ペアリングモードの入り方

ペアリング情報の入っていない状態で電源を入れると自動的にペアリングモードになります。

一度ペアリングした後に再度ペアリングモードに入るには、電源を切った状態で「電源」キーを長押しします。電源が入っても、「ペアリング中です」とアナウンスが聞こえるま

で「電源」キーを押し続けてください。

※ペアリング情報は1つしか保持出来ません。上書きすると古いペアリング情報は破棄されます。

ペアリング情報の初期化

電源を切った状態で「電源」キー、「△」キー、「▽」キーを同時に長押しして、電源が入った後もそのまま「電源」キーを5秒ほど押し続けます。電話の通話中のような「ツーツー」音と「ペアリング中です」のアナウンスが聞こえたら「電源」キーを離します。

受信音量を調整する

「△」キーを押すと音量が大きく、「▽」キーを押すと音量が小さくなります。

0~15までの16段階変更できます。

音声を受信する/送信する

スマートフォンと接続していると通話の音声を聞くことができます。アプリとBLE接続していると「PTT」キーが有効になり音声を送ることもできます。

・受信：スマートフォンと接続していれば音声は受信できます。本機を操作する必要はありません。

・送信：本機の「PTT」キーを押すと音声を送信します。その際アプリ側でPTTホールド機能が無効であれば押しての間だけ送信し、有効の場合はもう一度「PTT」キーが押されるまで送信を維持するハンズフリー運用ができます。

※機種により、送信音声が小さいものがあります。

定格

表示名称	AL-EME83WNC-M***** (M*****は本機の背面右下の製造番号)
適合規格	Bluetooth Ver.4.2準拠
送信出力	Class1
対応プロファイル	HFP
通話距離(通常時)	10m
最大ペアリング数	1台
外形寸法	本体部 : 95(W) x 82(H) x 46(D) mm(突起含まない) バッテリーパー : 86(W) x 50(H) x 22(D) mm(突起含まない)
使用温度範囲	-20°C~+60°C
充電温度範囲	0°C~+45°C
質量	約250g(ヘルメットホルダー、ベルト等一部付属品除く)

電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに次の動作をすることで、電話の応答/拒否することができます。ハウリングがおきますので音量を小さくして応答してください。

[Android端末使用時]

電話が着信したときは、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わると本機の「電源」キーを押します。電話着信を拒否するときはスマートフォン側で操作してください。

[iPhone使用時]

専用アプリで通話していないときに電話が着信すると、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わると本機の「電源」キーを押します。

専用アプリで通話中に着信したときは、本機の「電源」キーを押すと着信拒否して、専用アプリの通話を継続できます。

注意

・iPhoneを使用して専用アプリで通話しているとき、iPhoneの応答ボタンをタップすると電話に応答できますがiPhoneでの直接通話になります。通話を終了するときはiPhoneで操作するか、本機の「電源」キーを押します。但し、この操作をすると本機の通話ができなくなります。回復させるにはiPhoneの設定でBluetooth接続をオフにして、改めてオンにした後でペアリング。

[推奨の設定]

・iPhoneの設定で「常時Bluetoothイヤホンやマイクを使う」ように設定しておけば、上記の現象は起きません。設定方法はお使いのiPhoneの説明書をお読みください。

参考 上記の現象は、iPhoneが通話に最適な状態に自動設定することで起こります。異常ではありません。

2.4GHz現品表示記号の意味について

2.4J : 2.4GHz帯を使用する無線設備

[FHJ] : FHSS方式

[1] : 想定干渉距離が10m以下

[--] : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び

特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

バッテリーのリサイクルについて



- 本機は充電式電池使用機器です。リサイクル・交換などは販売店にご相談いただき、本書の「アフターサービスについて」をご参照のうえ弊社サービスセンターにご相談ください。
- 廃棄の際はお住まいの地域のリチウムポリマーバッテリー、リチウムイオンバッテリー機器の廃棄処理ルールに従ってください。

バッテリーパックの特性と寿命

○ バッテリーパックは消耗品です。充電回数は、300回~500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。

○ 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。

劣化がはじまるごとに、満充電状態からでも運用時間が短くなります。

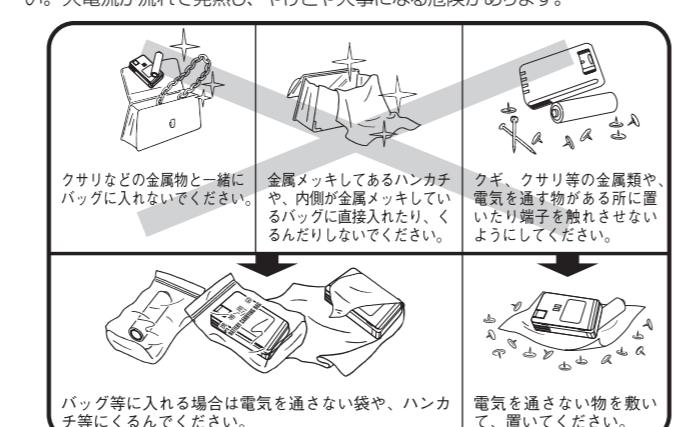
○ 劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。

○ 充電が完了しても運用時間が極端に短くなったときは寿命です。

3年を目安に長くても5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの保存とメンテナンス

○ バッテリーパックを持ち運ぶ際には、端子を絶対にショートさせないよう注意してください。大電流が流れて発熱し、やけや火事になる危険があります。



○ 電池類を保存するときは必ず本機から外してください。本機は電源オフでも待機電流を消費し、過放電の原因となります。保存には-20°C~+45°Cの範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。季節に関係なく直射日光の当たる所には絶対に放置しないでください。発火の原因になります。

○ 乾燥した冷所に保存してください。放電状態で保存することは絶対に避けてください。保存時の補充電については本機説明書に記載しています。

電波法について

○ 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたモジュールが内蔵された製品です。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。モジュールには右のラベルが貼られています。



○ 本体、モジュールに貼付されたラベル類は重要です。次のことで注意ください。
●機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。

●ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

●ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の帮助に該当するためでございません。電波行政と規格の違いから、使用できるのは日本国内に限られています。

●電波干渉について

本機のBluetooth機能を使用するときは、以下の内容についてご注意ください。Bluetoothに使用される2.4GHz帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局が運用されています。

○ 本機のBluetooth機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、2.4GHz帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。

○ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電源を切ってください。

○ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、お困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

○ 電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

Bluetoothの登録商標

Bluetoothのワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。

オプション一覧

□EDC-320R
□EME-58
□EME-60

連続用充電セット(連続ケーブル付属)
耳かけ型防水イヤホン(ケーブル長:約80cm)
ツイストコードイヤホン(ケーブル長:約100cm)

[付属品のスペア]

□EBP-108
□EDC-122

リチウムイオンバッテリー

ACアダプター

参考 ヘッドバンド、ヘルメットホルダー、マイクスピンドル、イヤホン防水キャップはスペア部品をご用意しています。販売店にご相談ください。
本機を分解しないと交換できないバッテリーホルダーやマイクは修理点検を承ります。販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。
自分で分解すると技術基準適合から外れ、それを使うと処罰されます。販売店や弊社サービスセンターにご相談ください。

故障とお考えになる前に

「故障かな?」と思われたら、まず以下の処置をご確認ください。また、アクセサリーが原因の不具合もありますので必ず点検してください。

症状	原因	処置
●電源が入らない	バッテリーの消耗	充電する
	バッテリーの過放電保護回路が動作している	バッテリーを十分に充電してから電源を入れる
●ペアリングできない	ペアリングモードになっていない	ペアリングモードにする
	スマートフォンの設定が間違っている	スマートフォンのペアリング設定を確認する
周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している	●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する	
周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している	●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す	

●イヤホンから音が出ない 音量が小さくなっている 「△」キーを押して音量を大きくする

スマートフォンとの距離が離れている スマートフォンとの距離を近づける
※本機との通話範囲は約10mですが周辺環境などによって短くなる場合があります
周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している 他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
※Android端末を使用する場合、専用アプリでの通話中に本機の電源が切れると通話が切断されます。iPhoneを使用する場合、専用アプリでの通話中に本機の電源が切れてもiPhone側で通話が継続されるので上記の現象は起きません。

●専用アプリ使用時、本機の「PTT」キーを押しても送信されない BLE接続ができない
●専用アプリでBLE接続を行う
●ペアリングをした後、専用アプリでBLE接続を行う
●スマートフォン側で一旦接続を切断し、再接続をした後、BLE接続を行う

周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している 周辺でBluetooth対応機器を停止させる
●他のBluetooth対応機器を停止させる
●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する
●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す

●電源が入っていない 強制終了ボタンをベン先などで押して、強制終了させてから電源を入れ直